

学校名 豊島区立椎名町小学校

校長名 原 香織

<p>学校の教育目標</p> <p>椎の木 椎の実 かしこく 元気 なかよく みんなで 生きようよ ～学校がすき まちがすき 世界にはばたく 椎小の子～</p>			
<p>学力に関する目指す児童像</p> <p>・確かな学力を身に付け、それを活用しながら主体的な学びに向けた問題解決学習や体験学習に取り組む児童の育成 ・思考力・判断力・表現力を身に付け、ICTを活用しながら進んでコミュニケーションを取ったり、発信したりする児童の育成</p>			
<p>授業改善推進プランの全体像</p>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">学校教育目標</p> <p style="text-align: center;">椎の木 椎の実 かしこく 元気 なかよく みんなで 生きようよ ～学校がすき まちがすき 世界にはばたく 椎小の子～</p> </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">各教科の重点</p> <p>・ICTを活用しながら問題解決的な学習を重視し、主体的に学ぶ意欲を育成する。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">学校経営方針より（学力向上にかかわる項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「椎小スタイル」に基づき、児童にとって分かる・楽しい授業の実現 ・「椎小スタンダード」に基づく学習習慣の確立 ・思考力・判断力・表現力・発信力の育成 ・基礎・基本の徹底と個に応じた指導の充実 ・学習情報センター（図書室+ICT）の利活用の充実と読書活動の推進 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">道徳教育の重点</p> <p>・相手の気持ちを考えて行動したり、社会規範を意識して行動したりする児童を育成する。</p> </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">総合的な学習の時間の重点</p> <p>・地域や学校園を活用しながら、自ら課題を捉え、すすんで課題を解決する力を育成する。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">外国語の指導の重点</p> <p>・外国語の基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を育成する。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">特別活動の指導の重点</p> <p>・友だち班活動や委員会、クラブ活動などを通して、児童が自発的に活動する力を育成する。</p> </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">生活指導の重点</p> <p>・教員間の共通理解、情報共有を図る。 ・いじめ、不登校の予防と早期発見に努め、組織的に対応する。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">学力に関する目指す児童像</p> <p>・確かな学力を身に付け、それを活用しながら主体的な学びに向けた問題解決学習や体験学習に取り組む児童の育成 ・思考力・判断力・表現力を身に付け、ICTを活用しながら進んでコミュニケーションを取ったり、発信したりする児童の育成</p> </div>		
<p>↑</p>			
<p>授業改善に向けた視点</p>			
<p>学習指導の工夫・改善</p>	<p>教育課程編成上の工夫</p>	<p>校内における研究や研修の工夫</p>	<p>家庭や地域社会との連携の工夫</p>
<p>●基礎・基本の内容が確実に身に付くように、繰り返し学習や放課後学習（椎の木タイム）などの工夫をする。</p> <p>●自ら考え、解決できる力を形成するために、問題解決の機会を増やす。</p> <p>●タブレット端末を適切な場面で有効活用する。</p>	<p>●月曜日の朝に「どんぐりタイム」を設け、反復練習を行い、国語と算数の基礎・基本の習熟を図る。</p> <p>●木曜日の朝に「朝読書」を設け、学習の基盤となる集中力や言語力・思考力の育成を図ると共に、読書活動の充実を図る。</p>	<p>●校内研究のテーマを「地域と響き合い、未来を豊かに生き抜く児童の育成」とし、区研究開発指定校の実践とリンクさせ、ICTを活用しながらSDGsや地域に対する理解を深める。</p> <p>●ICT委員会やICTサポーターによるタブレット端末の効果的な活用場面などの研修を行い、授業力の向上を図る。</p>	<p>●家庭学習の定着や椎小学習のサポーターの活用を推進する。</p> <p>●学校参観週間、土曜授業、ホームページの更新、保護者会等で、児童の学習活動の様子を周知する。</p> <p>●学校運営連絡協議会およびPTA、スキップ等関連機関との連携を深める。</p>

令和6年度 授業改善推進プラン（各教科）

1 国語科

目指す児童像を基にした国語科での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・確かな言語能力を身に付け、主体的に学び、熟考して取り組む力の育成。 ・文章の意味を正確に理解する読解力と、対話や協働を通じて考えを共有し、新しい解や納得解を生み出す力の育成。 		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなの読み書き ・自分の思ったことを文字で表すことが難 <p>しい児童が5割程度いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・促音や助詞、句読点の使い方の理解が不十分である。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に助詞の使い方が定着していない。 ・平仮名や漢字の筆順が定着していない児童が3割程度いる。 	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりタイムを活用して、ひらがなの習熟を図る。 <p>音読については、授業の他に、家庭学習でも取り組ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の教材（学習探検ナビやドリルパーク）を活用し、促音や助詞、句読点の使い方を繰り返し楽しみながら理解させる。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・促音や助詞、句読点の使い方を理解させる。音読と結び付けさせたり、書いたものを読み返させたりする。文章を書いた後に見直すポイントについてICTを活用して示す。 ・ドリルのデジタルコンテンツやドリルパーク等を活用し、筆順を正しく覚えられるようにする。
中	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子を叙述をもとに読み取る力に課題がある児童が4割程度いる。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字が定着していない。（正答率5割） 	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習以外でも、読書の時間を活用し、場面を想像して読むことができるようにする。そして、どんな内容だったか一行感想を書かせるなど、取り組ませる。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や宿題で、タブレット端末を活用した漢字

	<p>・場面の様子を叙述を基に読み取る力が 不十分である。</p>	<p>の 練習等を繰り返し行い、定着を図る。 ・根拠を明らかにして、ペアやトリオ、班で話し合う活 動を取り入れる。オクリンクなどの端末を活用して、 豊かな交流ができるようにする。</p>
高	<p>【5年】 ・教科総合正答率は目標値と比較して上 回り、達成率は73.3%だった。スピーチ をする問題で、全国値より3%低かった。 【6年】 ・文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に 使うことに課題がある児童が6割程度い る。 ・話し合いの内容を聞き取ることに課題が ある児童が5割程度いる。</p>	<p>【5年】 ・話し合い活動を通して、自分の考えを活発に意見し たり、質疑応答を通して、より考えに深まりをも たせ たりすることができるようにする。 【6年】 ・日々の宿題や朝学習「どんぐりタイム」の時間な どを 活用し、漢字を復習する時間を設ける。また、漢 字小 テストを活用し、漢字の定着度合いを定期的に確認 する。 ・国語の授業以外でも普段から話し合う活動を取り入 れる。また、話す聞くの学習では、目的や条件に応じ て話し合えるように指導する。</p>

2 社会科

目指す児童像を基にした社会科での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・資料から、必要な情報を調べまとめる技能を身に付け、学習の問題を追求・解決する力の育成。 ・社会への関わり方を選択・判断したことを適切に表現する力を身に付け、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力の育成。 		
学年	現在の状況	改善のための取組
中	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学習にも意欲的に取り組んでいる。 6割程度が資料を読み取り、活用することができる。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフ資料からはある程度の読み取りができるものの絵や地図や写真から情報を読み取ることが苦手な児童が多い。 	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用し、何を読み取ることができる 資料かを確認し、調べたいことと関連付け、読み取った内容を表現できるようにする。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳や写真資料から情報を読み取れるように活用 する機会を増やしていく。また、複数の資料を複合して考えられるように資料を精選したり授業の展開を工夫したりしていく。
高	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査では、十二貫野用水について、年表を読み取る問題で、全国値より4.6%低い結果となった。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスメディアについて誤った理解をしている児童が6割程度いる。 	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年表や図等の見方や考え方を丁寧に指導し、資料からどのようなことが分かるかを考える機会を増やす。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までに学習した内容もタブレットのAIドリル学習機能を使い、朝学習や宿題で定期的に復習していく。

3 算数科

目指す児童像を基にした育成したい算数科での資質・能力		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算問題などは処理速度に差が見られる。 ・文章問題は場面のイメージができず、正しく立式ができない児童が3割程度いる。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し上がり、繰り返し下がりの処理に時間がかかる児童が2割程度いる。 ・文章題では、題意を正しく捉えて立式することが苦手な児童が4割程度いる。 ・長さやかさの単位換算についての理解が、全体的に不十分である。 	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の教材（学習探検ナビやドリルパーク）を活用し、楽しみながら反復練習ができるようにする。 ・具体物や挿絵などを活用し、問題場面をイメージできるようにする。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリルのデジタルコンテンツ、ドリルパークを活用して練習を行い、定着を図る。 ・ポイントとなる言葉に下線や印を付けながら問題を読ませ、何を求めるのかを理解できるようにする。 ・具体物を操作させたり、日常生活と結びつけさせたりして理解させる。教科書やドリルのデジタルコンテンツ、ドリルパークを活用して練習を行い、理解を深めさせる。
中	<p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都の学力調査の目標値を下回っている大問が約5割ある。 ・都の学力調査の中でも数の大小を理解できていない児童が多い。 	<p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIドリルを用いて個に応じた問題に取り組み、既習事項を振り返る。また、学力が低い児童に対しては放課後学習や休み時間の時間を使い、学力の向上を図る。 ・デジタルコンテンツの位取りや数直線を用いて、数の大小や概念の定着を図る。
高	<p>【5年】</p>	<p>【5年】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・教科総合正答率は目標値と比較して上回り、達成率は68.9%だった。データの活用に関する問題で、目標値より10.3%低かった。 【6年】 ・概ね、都の学力調査の目標値を上回っている。 ・与えられた情報を読み取り、説明すること に課題がある児童が6割程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科・領域の学習においても、グラフや表を見たり かいたりする機会を増やし、グラフや表を活用する力を 育てる。 【6年】 ・デジタル教科書を活用し、問題の中で聞かれている ことを視覚から分かりやすく捉えられるようにする。 ・学習の中で友達に自分の考えを説明する活動を設 け、根拠をもとに説明する力を付けられるよう学習活 動を工夫する。
--	--	---

【豊島区立椎名町小学校】

4 理科

目指す児童像を基にした理科での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見いだす力の育成。 ・予想や仮説を基に観察、実験などを行い、結果を整理し、その結果を基に結論を導きだす問題解決力の育成。 		
学年	現在の状況	改善のための取組
中	<ul style="list-style-type: none"> 【3年】 ・興味・関心をもって学習活動に取り組んでいる。 ・約5割の児童は既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想でき ない。 【4年】 ・都の学力調査の目標値を下回っている 大問が約7割ある。 ・植物の育ち方の過程やからだのつくりを 理解していない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 【3年】 ・タブレット端末を活用し、観察や実験の記録をまと め、一連の流れを理解できるようにする。 ・身近な事象と関連付けて、問題解決の見通しを もたせるようにする。 【4年】 ・AIドリルを用いて個に応じた問題に取り組み、既習 内容や物の性質について理解するとともに、身近な 事象から予想や仮説をたて、問題解決の見通しを 持つ てるようにする。 ・タブレットを活用し、植物の育ち方を画像として

		記録 に残す。学習のまとめでは成長の過程をつなげて振 り返し、学習の充実を図る。
高	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の動物の様子、月と星、水のすがたについて、全国値より正答率の低さが見られた。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電磁石の性質について理解が低く、学力調査の全国平均値を9%も下回っている。 ・胎児が育つしくみを約3割の児童が理解できていない。 	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や今後学習する単元の中で、既習内容を結びつけて考えられるよう指導を工夫する。 ・学習に活用した動画を児童のタブレットでも振り返りができるようにクラスルームなどにも添付する。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験の際はグループで話し合いを進めるが、一人一人の理解を深めるために、考察は必ず個人で考える。 ・学習に活用した動画を児童のタブレットでも振り返りができるようにクラスルームなどにも添付する。

5 生活科

目指す児童像を基にした生活科での育成したい資質・能力		
<p>・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能の育成。</p> <p>・身近な人々、社会及び自然との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現する力の育成。</p> <p>・身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度の育成。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が事として興味関心を引き出すことができたので、意欲的に自分の考えを発表していた。 ・自分たちで話し合っって計画することで、友達との意見に共感し、協働的な学びに繋がった。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の体験や経験を生かして、意欲的に学習活動に取り組む児童が多い。 ・学習の記録や発表にタブレット端末を活用している。 	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、校内だけでなく地域まで視野を広げている ・色々な人にお世話になっていることに気付かせるよう ・今後はタブレット端末を記録や交流に活用し、さらに協働的な学びを深めていく。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な活動時間を確保し、タブレット端末のカメラ機能や思考ツール等を活用した個別最適な学びや協働学習に取り組ませる。 ・1年を通して学校園を活用し、様々な野菜を育てる体験を行う。 ・地域や幼保と連携し、身近な人々と関わる中で、自分自身や自分の生活について考えられるようにする。

6 音楽科

目指す児童像を基にした音楽科での育成したい資質・能力		
<p>・音楽のよさを感じ取り、友達と協働しながら、主体的に音楽に関わったり表現しようとする資質・能力の育成。</p> <p>・ICTを活用しながら個別最適な学びを深め、音楽的な見方・考え方を働かせて音楽表現を工夫することや音楽を味わって聴いたりつくったりすることができる力の育成。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>【1, 2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズム遊びや歌う活動に楽しんで取り組んでいる。 ・グループ活動では、3割程度の児童が、自分の思いを相手に伝えることが難しい場面も見られる。 	<p>【1, 2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して、自分の演奏を撮影して発表したり、友達の思いを共有したりする。 ・学級全体で互いの思いや意図を伝え合いながら、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付け、思いを伝え合う活動に取り組む。
中	<p>【3, 4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸びやかに歌おうとする意欲が高く、熱心に活動する姿が見られる。 ・音楽をつくる活動において、ICTを活用する学習活動に興味をもっているが、1割程度の児童は、基本操作に課題が見られる。 	<p>【3, 4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや意図を明確にした活動に取り組んだり、友達の考えを取り入れたりしながら、音楽表現の経験を増やし、満足感や達成感を味わわせる。 ・リズムや旋律をつくる活動において、ICTを活用しながら視覚化し、児童が表現しようとしたことを価値付けする。
高	<p>【5, 6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽合奏の練習に主体的に取り組み、パートごとに課題を見つけ合いながら協働的な学習を進めることができる。 ・3割程度の児童は、表現方法について指示待ちの状態が見られる。よりよい表現方法を実現しようと意欲的な児童 	<p>【5, 6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びを深める手立てとしてICTを活用する。個人で学びの到達目標を設定し、取捨選択しながら学習を進める方法を構築する。 ・ICT活用により、個人の思いや意図を全体に瞬時に反映させたり、学習の流れをフローチャート化して、児童が学習の見通しをもつようにする。

	<p>が グループ活動の要となっている場合 もある。</p>	<p>・主体的によりよい表現方法を目指して話し合い、 協働して音楽を深める場面では、全員の意見がを出 し 合いう場を設定し、互いの思いを共有する。</p>
--	--	---

7 図画工作科

目指す児童像を基にした図画工作科での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・表現および鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の色などと豊かに関わ る資質・能力の育成。 ・感じたことや想像したことを造形的に表す表現力の育成。 ・作品などからそのよさや美しさを感じ取ったり考えたりし、ICT を活用して、自分の見方や感じ方を深める 鑑賞の力の育成。 		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>[1・2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をもって学習活動に取り組んでいる。 ・友達の作品の良さを伝え合うことが難しい児童も2割程度いる。 ・導入で教師が手本を見せても、学習内容が理解できず、個別指導が必要な児童が1割いる。 	<p>[1・2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間鑑賞を取り入れ、発想の段階で友達の発想の良さに気が付けるようにしたり、最後の鑑賞では、めあてにそった互いの作品の良さを伝え合えたりできるようにする。 ・作業手順等をデジタル教科書やタブレット端末、作品見本を活用して完成のイメージがもてるようにする。 ・表し方、考え方を段階的に説明する。
中	<p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に表すことを楽しんでいる児童が多く熱心に活動できている。 ・集団の意識が低く、決まりを守れなかったり集中力に欠けたりする児童が1割程度いる。 <p>[4年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の意図を意識して取り組むことができるようになってきている。 ・ICTを活用した学習に興味をもっている。 	<p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループの中で、準備片付け、作品のアドバイスなどの共同的な意識をもたせる活動を行い、全体の授業規律に結び付けていく。 ・学習ルールを視覚化するなど、授業規律を身に付けさせ、より集中させることでよりよい表現へと向かう気持ちをもたせる。 <p>[4年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想・構想を視覚化するために自分の思いや意図を明確にしたり、友達の考えを取り入れたりしながら、ICTを活用して取り組めるようにする。 ・自力解決の時間の後に小グループの中で、作品

	<ul style="list-style-type: none"> ・主題に沿った発想や構想が広がりにくい 児童も1割程度いる。 	<p>のアドバイスなどの中間鑑賞を取り入れ発想の広がりがもてるようにする。</p>
高	<p>[5年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した見通しをもった活動を主体的に行い、協働的な学習を進めることができる。 ・素直に制作に取り組むことができる。 <p>[6年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した見通しをもった活動を主体的に行い、協働的な学習を進めることができる。 ・よりよい作品にしようとする粘り強さや気持ちが、希薄な児童が1割程度いる。 	<p>[5年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品への思いや意図を全体に反映させる手立てとしてICTを活用する。 ・視覚化したものを全体共有し、主体的によりよい表現方法を目指して話し合い、活動を深める場を設定する。 <p>[6年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品への思いや意図を全体に反映させる手立てとしてICTを活用する。 ・工作などでは生活に役立つものや、生活を豊かにするものを考えながら学習を進める方法を構築する。

8 家庭科

目指す児童像を基にした家庭科での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身につける。 ・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 ・家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。 		
学年	現在の状況	改善のための取組
高	<ul style="list-style-type: none"> ・調理や裁縫への意欲が高く、積極的に取り組む児童が多い。また、裁縫で習ったことを生かして家庭で他の作品を作る児童も多い。 ・調理と裁縫の時間に家庭からのサポートを担当が呼びかけてくれたため、家庭科の授業だけでなく、家庭でも日常的に使える小物を作りたいという意欲的な児童が多い。 ・家庭で自分で縫って作った作品を学校で使うことに満足感を感じている児童が数人いた。 ・基礎的な裁縫の技能を身につけるのに時間がかかる児童が自主的に家で練習して、できるようになった。 ・家族の一員として生活をよりよくしようと考えている児童がまだ全員ではないように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の一員として生活をよりよくするためには、どういふことをしていけばいいかを、簡単なことから実践できるように例を挙げて伝えていく。 ・家庭での料理や洗濯だと習い事があって時間的に厳しいと思っている児童もいるので、自分の部屋の整理整頓や自分の服の管理など身の回りのできることから意識させていく。 ・休み時間などに児童ひとりひとりに声かけすることにより、少しでも実践してできたことを承認し、もっとやってみようという意欲につなげていく。 ・これからも担任と連携し、保護者の協力を頂きながら児童の意欲につなげていく。

9 体育科

目指す児童像を基にした体育科での育成したい資質・能力		
<p>・運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能の育成。</p> <p>・自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力の育成。</p> <p>・各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度や、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度の育成。</p>		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの活動にも意欲的に取り組んでいる。 ・体力テストではボール投げ、反復横跳びが全国平均より低かった。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識調査では、86%の児童が体育の授業が楽しいと回答した。 ・体力テストでは、握力、ボール投げ、立ち幅跳び、反復横跳びが全国平均値を下回っていた。 	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手本を見せたりタブレット端末で動画を見せたりし、具体的にイメージできるようにすることを継続する。 ・ボール投げは、ボールを思い切り強く投げたり、ねらって投げたりするあてゲームを行いながら、ボールを投げる動きを身に付けさせる。反復横跳びは、コアディネーショントレーニングを中心に、鍛えていく。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツを活用して活動の見通しや運動のイメージをもたせやすくする。 ・ボールを投げたり受けたりする運動遊びで、体の使い方を身に付けさせる。 ・敏捷性や瞬発力の向上を図る鬼遊び等の運動遊びに取り組みさせる。
中	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の学習が楽しいと回答した児童が9割いた。 ・体力テストでは、全ての項目で、全国平均を大きく上回らなかった。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで運動する児童が多い。休み時間には、児童全員が校庭に出ている。 ・体力テストでは、投の能力が低い児童が多い。 	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用し、運動の仕方や体の動かし方の習得を図る。 ・基礎体力向上を目的としたランニングなどの体力づくりのトレーニングを取り入れる。 <p>・メンコ、紙鉄砲などの遊びに取り組みさせ、遊びの中で投げのイメージをもたせる。</p>
高	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識調査では、82.1%の児童が普段の生活の中で疲れを感じている。 	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間の校庭遊びや、自主学習による体幹トレーニングの実践、ストレッチタイムの動きを日常生

<p>・体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国の平均値に推移しているが、投の運動や柔軟性は4ポイントほど平均を下回る結果となった。跳の運動や柔軟性が3～7ポイント下回る結果となった。</p> <p>【6年】</p> <p>・意識調査では96%の児童が体育の授業が楽しいと回答した。しかし、体育の授業以外では19.7%の児童が運動をしていない。</p> <p>・体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国の平均値に推移しているが、投の運動や柔軟性は4ポイントほど平均を下回る結果となった。</p>	<p>活の中に頻繁に取り入れること等を推奨し、運動の機会を増やす。</p> <p>・授業の導入で、コーディネーショントレーニングを取り入れる。</p> <p>・準備運動でのストレッチを重点的に行う。</p> <p>【6年】</p> <p>・運動の機会を増やすために、休み時間は校庭遊びを推奨し、教室遊びの日は、スポーツメンコやシッティングバレーなど室内でもできる運動に取り組みさせる。</p> <p>・授業の導入で、コーディネーショントレーニングを取り入れる。</p> <p>・準備運動でのストレッチを重点的に行う。ボール運動やスポーツメンコなどを活用し、ゲーム性をもたせ、楽しみながら運動に取り組みさせる。</p>
--	---

10 英語活動・外国語活動・外国語科

目指す児童像を基にした外国科等での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語によるコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を身に付け、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成。 ・ICT を活用しながら、自分の思いや考えについて主体的に発信しようとする態度の育成。 		
学年	現在の状況	改善のための取組
低		【1年】 <ul style="list-style-type: none"> ・2学期以降に実施していく。 【2年】 <ul style="list-style-type: none"> ・2学期以降に実施していく。
中	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童は外国語活動に意欲的に取り組んでいる。楽しみながら学習できている。 	【3年】 <ul style="list-style-type: none"> ・できなかったことではなく、できたことに目を向けて褒めて励まし続ける。 ・デジタルコンテンツを活用し、楽しく発話できるようにする。
高	【5年】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語の学習や ALT との会話のやりとりに関心を持ち、意欲的に取り組む児童が多い。 ・自信のなさから、英語を話す声小さくなってしまう児童が2割ほどいる。 【6年】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語の学習に意欲的で、自分から話したりコミュニケーションを取ろうとしたりしている。 ・自分から覚えた会話の仕方を自分なりに伝えたいことを単語などを調べて発展させて話そうとしている。 ・書くことに関して、大文字や小文字の使い分けに課題がある児童が3割ほどいる。 ・必要な単語や文を集中して聞き取ることに課題がある児童が2割ほどいる。 	【5年】 <ul style="list-style-type: none"> ・日常会話で使用する会話は、毎回授業で質問し、定着を図る。 ・グループ活動を増やし、小グループから全体へスモールステップで広げていく。 ・デジタル教科書を活用して、聴覚的・視覚的インプットを増やして理解度を深める。 【6年】 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを活用し、英単語や簡単な文を書く機会を増やす。 ・集中して聞く時間を多く取り、短い文章を聞いて分かったことについて書かせることで、聞く力を付けていく。

1 1 特別の教科 道徳

目指す児童像を基にした道徳科での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的諸価値についての理解をもとに、道徳的な判断力、心情、実践意欲の育成。 ・自己を見つめ、よりよい生き方を考え、実現しようとする態度の育成。 		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間に考えたことや学んだことを、日常的に繋げることができていない児童が2割程度いる。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に考えて学ぼうとする児童が多い。 ・道徳の時間に学んだことが、日常生活に反映できない場面は少なくない。 	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の時間だけでなく、日常生活のなかでも、学習したことを想起する機会を設定し、児童に気付かせる。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用し、考えや思いの変化を共有しやすくする。 ・掲示物等で振り返りや想起ができるようにし、日常生活につながりやすくする。
中	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して自分の生活とつなげながら考えを広げたり深めたりすることができている。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな道徳的諸価値について、毎回の学習を通して自分の生活とつなげながら考えを広げたり深めたりすることができている。 	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を活用し、考えや思いの変化を共有しやすくする。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問や板書を工夫し、学習したことが自分の生活につながるように指導する。 ・タブレット端末を活用し、考えや思いの変化を共有しやすくする。 ・導入と振り返りにつながりをもたせる授業作りをする。同様の内容項目を扱った授業を想起させる。
高	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や周囲に対し温かい心で接することができ、物事を謙虚に受け止めることができている、道徳的な心情が育っている。 ・周囲や事後のことを考えない自分本意な言動が多く、道徳的な判断力や実践力に課題が見受けられる。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の中で学んだ道徳的価値を普段の生活で活かそうとしている姿が見られる。 ・学校外に出ると反道徳的な行動を取ってしまう児童が1割程度いる。 ・自分の考えをもち、ノートに表現することはできても、発表することが難しい児童が3割程度いる。 	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習が活かせるよう日常生活と結び付けて考えさせ、道徳的な判断力や実践力を養う。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習で学んだことを学校外の生活でも活かせるように、道徳の学習を毎時間大切に行う。特に「親切、思いやり」の重点内容項目の学習では、多面的・多角的に考えられるような発問づくりを行い、指導する。 ・タブレットを活用し、友達と交流する機会を増やし、多くの考えに触れられるようにする。

--	--	--

1.2 総合的な学習の時間

目指す児童像を基にした総合的な学習の時間での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、タブレットPC等を活用して情報を集め、整理・分析してまとめ表現することができるようにする。 ・SDGsに関する活動を通して、自分のこととして捉え、実践できるようにする。 		
学年	現在の状況	改善のための取組
中	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の設定した課題に意欲的に本を読んだり、インターネットで調べたりして、調べ学習に取り組んでいる。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童は課題に対して意欲的に学習活動をすすめているが、教科やSDGsと関連していることを意識している児童は少ない。 	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット学習を積極的に活用し、調べ学習に役立てていく。 ・トキワ荘を中心に、地域を学びの場として連携を強化する。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科やSDGsと関連の深い学習活動を計画していく。また、さらに深い学びにつなげていくためにタブレット端末を活用して一人一人の学習状況に応じて丁寧に指導していく。
高	<p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8割の児童が主体的にグループ活動に取り組むことができるが2割の児童は、できる児童に任せてしまう傾向にある。 ・タブレットを活用し、プログラミングに意欲的に取り組んでいるが、3割の児童が活動に夢中になり、メモなどの記録に残すことに課題がある。 	<p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働学習ソフトを活用し、全員が意見を出す場を設定する。 ・タブレットに集中させるのではなく、話し合いの機会をつくる。 ・メモを活用しなくてはならない場面をつくり、メモの重要性に気付かせる。

1.3 特別活動

目指す児童像を基にした特別活動での育成したい資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団活動を通して、望ましい人間関係を形成する力の育成。 ・ 個性の伸長を図り、公共の精神を養いながら、集団の一員として協力する力の育成。 ・ 学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画して、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度の育成。 		
学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当番活動に積極的に取り組んでいる。 ・ 話し合いをし、実践する機会が少ない。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当番の仕事や係活動に意欲的、協力的に取り組む児童が多い。 ・ 話し合い活動では、積極的な発言が多い反面、そこに任せてしまう児童が少なくない。 	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童主体の話し合い、実践が少しずつできるように、学級会オリエンテーションや1時間完結の話し合い実践を経験させていく。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示物で当番や各係の活動にも目を向けさせ、意欲的な活動の継続を図る。 ・ 話し合い活動時、タブレット端末を活用して各自の考えを共有しやすくする。
中	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当番活動や係の仕事に意欲的に取り組む児童が9割いる。1割の児童は、人任せにし、取り組めない。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係活動や当番活動に積極的な児童が多い。 	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当番活動は、終わったあと必ず振り返りを行い、常に改善していけるようにしていく。係の仕事は、1週間ごとに振り返りを行い、みんなで協力して取り組めるようにしていく。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さらに意欲向上させるために、発表の場や掲示を増やすなど、輝ける場を設ける。
高	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会活動に意欲的に取り組んでいる児童が多い。係や当番活動、生き物の世話など仕事が多いので、網羅して細やかに取り組めるようにすることが課題。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係活動に意欲的な児童が9割だが、行事や鼓笛の活動で係活動に取り組む機会が少ない。 ・ 委員会で最高学年として責任をもって活動に取り組める児童が増えたが、役職のない児童のリーダーシップが若干低い。 	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しをもって、計画・準備のための時間配分などができるよう声をかけ、励ましていく。 ・ クラスルームを活用して児童が主体的に活動できるように環境を整える。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常時活動が難しい係の場合は、学期ごとの活動にし、できる時間に活動できるよう配慮する。 ・ 役職のない児童も最高学年として下級生を引っ張っていくために、必ず役割を与える。

1.4 交流及び共同学習の進捗状況

学年	現在の状況	改善のための取組
低	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流を楽しんでいた。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科を中心に幼稚園や他学年との交流に取り組んだ。 	<p>【1年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より主体的になれるように、自分のめあてや目的を事前指導で共有して活動に臨む。 <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が意欲的に取り組めるよう、地域や関係機関と調整や計画を進めていく。
中	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市立湊城西小学校とオンライン交流学習を行った。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化を調べるために、地域のお祭りを運営している方々に舞いや歴史を教えていただいた。 	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期は、朝の会で交流学習を行うことができた。引き続き、学習の中で交流をしていく。 <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りや行事に参加し、失礼のないように関係を築いていく。連絡先等、次の学年に丁寧に引き継いでいく必要がある。
高	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊佐町の方々にご来校いただき直接田植えの仕方を教えていただいた。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流では1年生へのお世話を意欲的にできた。 	<p>【5年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの気付きや考えを協働で発信したり、質問したりして、能動的に交流し、より学習を深められるようにしていく。 <p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にお世話に取り組めたので、今後の交流は児童たち自身から提案できるよう促す。